第2回EBE協議会【実践発表】

各種調査結果を活用した組織的な授業改善等に係る自校の取り組みについて

北海道えりも高等学校

教務部長　倉　内　和　輝

本発表の流れ

１　本校の概要について
２　エビデンスの収集と活用
３　えりも町内小中学校とのつながり
４　課題と今後の展望について

１　本校の概要について

課程・学科	全日制課程・普通科
全校生徒数	81名（第１学年：23名、第２学年：29名、第３学年：29名）
生徒の主な出身地	えりも町、様似町
特色のある教育活動	連携型中高一貫教育、海外研修、郷土芸能（えりも駒踊り）の習得
卒業生の進路	○大学６名 （弘前大学、札幌医科大学、北海学園大学、札幌大学、札幌学院大学、北海道情報大学） ○専門学校他７名 （青山建築デザイン・医療秘書専門学校、大原簿記情報専門学校、札幌こども専門学校、北海道スポーツ専門学校、北海道立漁業研修所他） ○公務員３名（刑務官、航空自衛隊、えりも町役場） ○民間就職８名（日本郵便他）

２ エビデンスの収集と活用

中学校段階までの学習の成果を、高等学校の
学習に円滑に接続させるための取組事例

２ エビデンスの収集と活用

①年間３回の中高合同会議の実施【連携型中高一貫教育】

・中学校と高校の全教員が参加

・４月、１１月、３月に実施

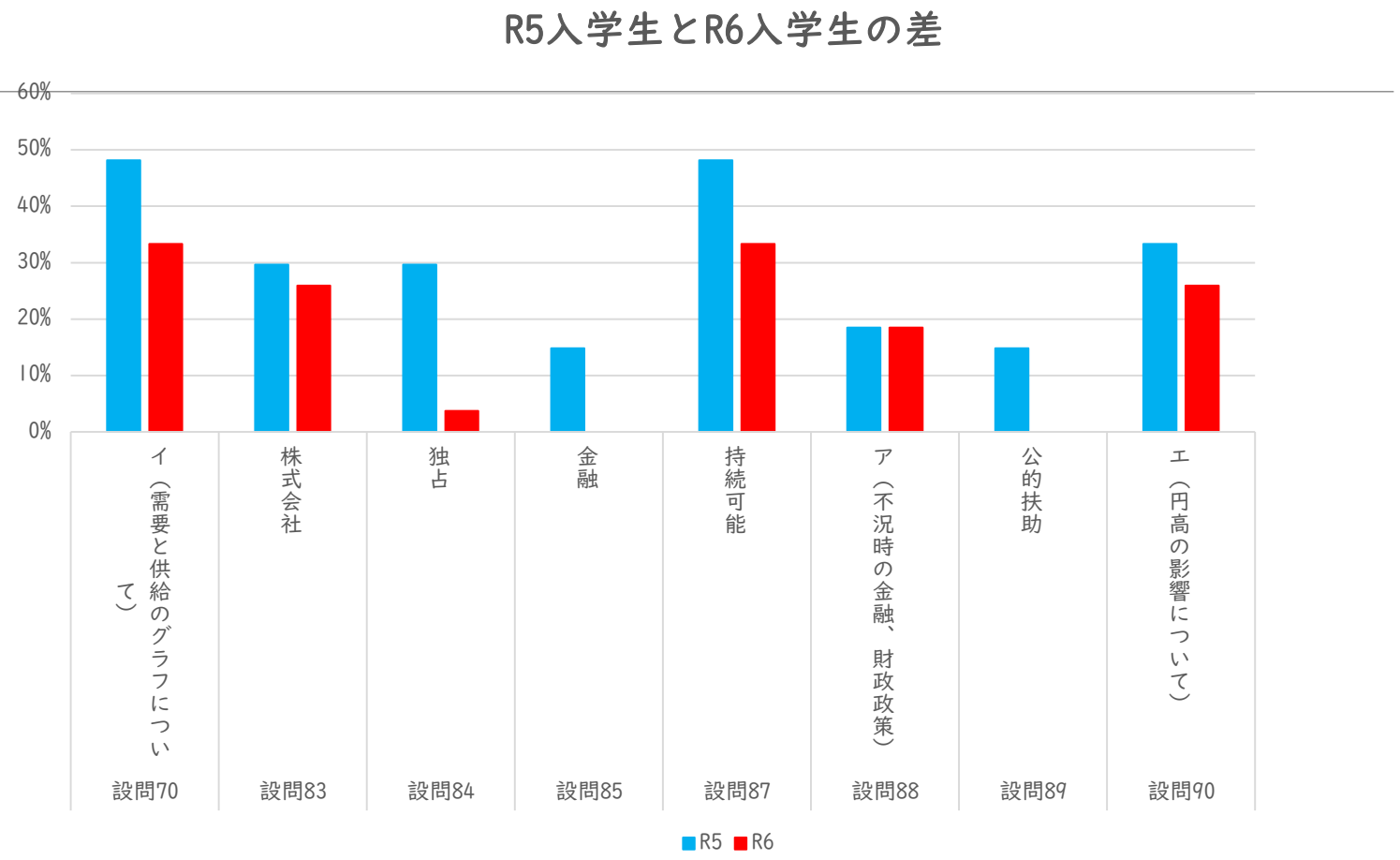
・各教科に分かれて生徒の状況や指導方法等について協議、ヒアリング、情報交換

→ 個々の生徒の状況、学年の特徴、課題等を把握

中学校との授業交流でわかること

例）地歴公民科の場合

今年の３年生は
経済分野が苦手です



苦手分野を事前に把握し、入学後の指導に役立てる

２ エビデンスの収集と活用

②兼務授業

・数学

・週４時間、高校の教員１名が中学３年生の授業を担当

→ 年間を通して学力向上に貢献

2　エビデンスの収集と活用

実施計画（テーマ・日程）	校種	実　施　内　容	担当学年・教科・教諭等
1-1　中学３年生対象の復習授業	中高	・高校教員も参加し、中学３年生を対象に、３年間の復習を行う。（時期は検討中） ・時期、回数、形態について効果的な実施方法を協議する。	中高数学科
1-2　兼務発令に伴う授業	中高	・高校教員が中学校の授業に入る。	中高数学科

課題を把握し、基礎学力の向上をめざす

２ エビデンスの収集と活用

- ５月　　基礎力診断テスト（４月・１０月実施）講演
- ６月　　授業研究日　授業に関する交流会
- ８月　　えりも町実践交流会
- １０月　授業研究日　　（視察研修報告他）
- 授業評価（年２回）、町内の公開授業への参加他

2　エビデンスの収集と活用

〇確かな生徒理解に基づく個別最適な学び

1　生徒の実態把握と基礎学力定着のための指導

（1）入学当初における各種テストの実施

基礎力診断テスト、各科目のアセスメントテスト

（2）各科目での指導方針の検討、教材研究等

→　習熟度別展開授業、基礎学力を定着させるための工夫

２ エビデンスの収集と活用

各学年の学習状況に応じた取組

・進路希望に応じた放課後講習（３年）

・学力向上同好会（２年生）

・SHRで小テスト（朝テスト）を実施（１年生）

2　エビデンスの収集と活用

❸義務教育範囲問題得点率別人数 ▭…校内平均

国語　（人）

得点率(%)	今回	前回	昨年度
90～100	5	3	
80～89	3	3	
70～79	11	3	
60～69	8	4	
50～59	2	8	
40～49		6	
30～39			
20～29			
10～19			
0～9			
合計	29	27	

数学　（人）

得点率(%)	今回	前回	昨年度
90～100	7		
80～89	4	2	
70～79	4	5	
60～69	4	4	
50～59	4	3	
40～49	1	3	
30～39	2	7	
20～29	3	2	
10～19		1	
0～9			
合計	29	27	

英語　（人）

得点率(%)	今回	前回	昨年度
90～100	3	1	
80～89	3	2	
70～79	3	4	
60～69	5	4	
50～59	7		
40～49	5	6	
30～39	2	6	
20～29	1	2	
10～19		2	
0～9			
合計	29	27	

基礎力診断テスト

→ 義務教育段階の理解度の向上

2　エビデンスの収集と活用

4月

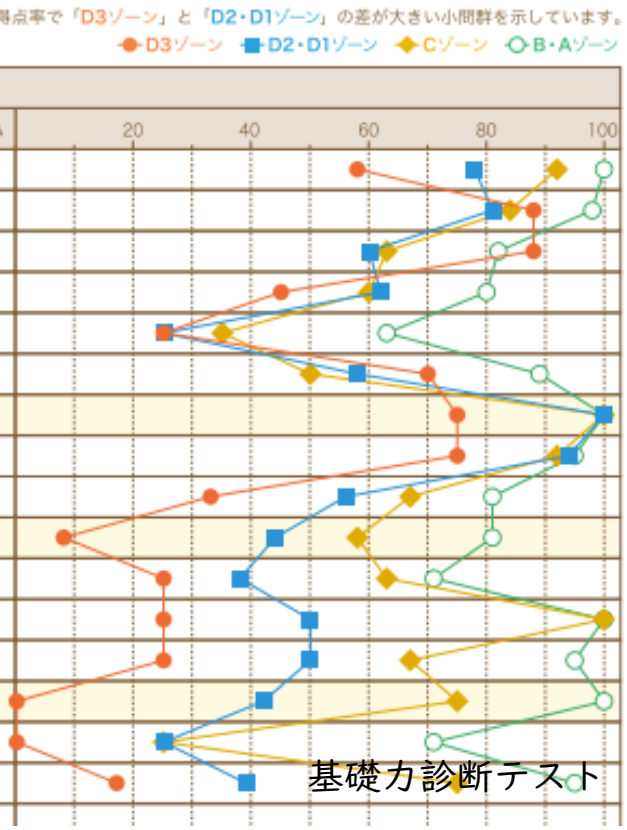
10月

❺小問群別GTZゾーン別得点率

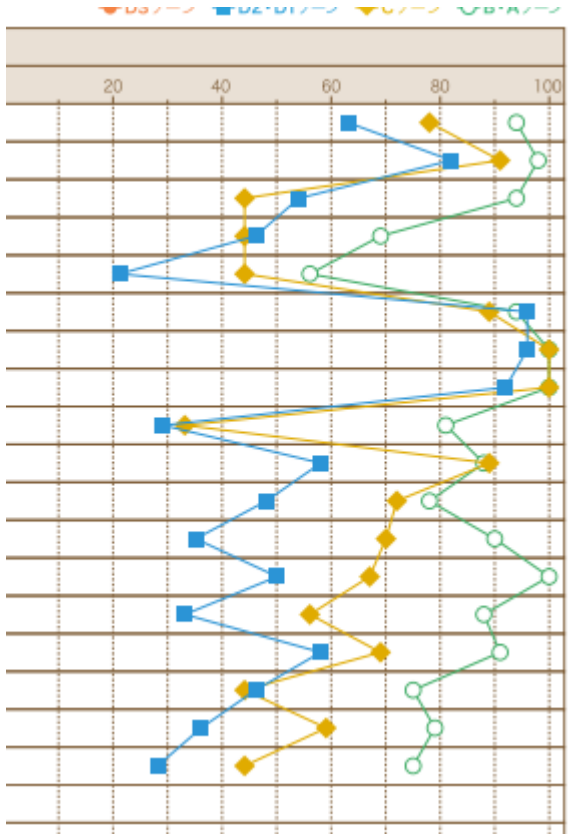
…重要復習小問群：得点率で「D3ゾーン」と「D2・D1ゾーン」の差が大きい小問群を示しています。

D3ゾーン　D2・D1ゾーン　Cゾーン　B・Aゾーン

大問	小問群名	出題範囲 小学	中学	高校	得点率(%) 目標	D3	D2・D1	C	B・A
1	漢字・語い（漢字の読み）		●		87	58	78	92	100
	漢字・語い（漢字の理解）		●		80	88	81	84	98
	漢字・語い（四字熟語）		●		64	88	60	63	82
	漢字・語い（ことわざ・慣用句）		●		54	45	62	60	80
	評論に用いられる語句		●		40	25	25	35	63
	敬語表現		●		73	70	58	50	89
2	呼応（陳述）の副詞		●		90	75	100	100	100
	接続語		●		83	75	94	92	95
	主語・述語の関係		●		45	33	56	67	81
	内容の把握 思		●		45	8	44	58	81
	要旨の把握 思		●		40	25	38	63	71
	指示語の把握 思		●		46	25	50	100	100
3	内容の把握 思		●		40	25	50	67	95
	指示語の把握 思		●		53	0	42	75	100
	接続語 思		●		41	0	25	25	71
	要旨の把握 思		●		40	17	39	75	95



基礎力診断テスト



下位層の学力向上

２ エビデンスの収集と活用

○家庭学習時間の変化

１日あたりの家庭学習時間（R6年度入学生）

学習時間	4月9日	%	5月31日	%
３時間以上	0	0.0	0	0.0
２時間程度	2	8.7	1	4.5
１時間半程度	1	4.3	4	18.2
１時間程度	2	8.7	5	22.7
30分程度	5	21.7	5	22.7
15分程度	2	8.7	5	22.7
学習しない	11	47.8	3	13.6
合計	23人		23人	

→家庭学習時間の増加

高等学校での成績の伸び

スタディーサポート

入学年度	2021	2020	2019	2018	2017
1年：校内平均／全国平均	128.0 / 163.1	147.1 / 159.7	136.9 / 160.0	148.8 / 158.5	138.7 / 157.7
全国との差	35.1	12.6	23.1	9.7	19
2年：校内平均／全国平均	107.6 / 122.3	124.2 / 122.5	121.5 / 119.7	113.3 / 120.2	118.6 / 119.7
全国との差	14.7	-1.7	-1.8	6.9	1.1
得点率の上昇	20.4	14.3	24.9	2.8	17.9

学力向上による進路実現

２ エビデンスの収集と活用

A：国公立・中堅私大合格レベル
B：国公立・中堅私大挑戦レベル
C：4年制大挑戦レベル
D：基礎・基本養成レベル
※ベネッセHPより

卒業生の頑張り

	１年次スタサポ	２年次スタサポ	進路先
A	Ｂ２	Ｂ１	小樽商科大
B	Ｃ２	Ｂ２	はこだて未来大
C	Ｄ２	Ｃ１	北海学園大
D	Ｃ２	Ｂ２	秋田大
E	Ｃ２	Ｂ２	札幌医療看護専門学校
F	Ｃ３	Ｃ１	釧路労災看護専門学校
G	Ｄ１	Ｃ１	北海道職員

２ エビデンスの収集と活用

２　各種研修・交流会の実施

（1）校内授業研究（前期・後期１回ずつ）

（2）授業に関する交流会（同上）

３　えりも町内小中学校とのかかわり

◎中高一貫教育推進委員会・えりも町教育研究協議会との連携

（1）中高授業交流

（2）町内学校の授業研究

（3）えりも町学習部での取り組み

３ えりも町内小中学校とのかかわり

◎家庭学習の充実・習慣化に向けて（学習部）

〇小中高の先生が各校種の卒業までに目指す姿を設定、協議

〇具体的な取組や課題について交流

家庭学習の時間・内容の充実を図る

必要な学びを自ら選び学習（小中）
目標を持ち希望する進路に向けて学習を重ねる（高）
家庭学習時間の確保について（小中高）

４　課題と今後の展望について

①　課題

・「やりっぱなし」の解消

②　今後の展望

・校内研修・交流会の充実

・各学年の取組の評価（成果はいかに？）

・小中高の取組の視点合わせ

ご清聴ありがとうございました。